

新型コロナウイルス感染症 感染拡大予防の徹底を！

令和2年9月8日

高齢者や家族内での感染が増えています。

基本対策

- ・ 3密の回避
- ・ マスク着用
- ・ 咳エチケット
- ・ 手洗い手指消毒
- ・ 大声を出さない

特に注意

友人・仲間や家族内でも感染対策
家庭内にウイルスを持ち込まない
高齢者は重症化のリスクが高く配慮する

中高年、特に高齢者の皆様へ

- ▶ 人が集まる場所や飛沫感染のリスクの高い場所での感染予防の徹底
3密の徹底回避、長時間の滞在を控える、体調が悪いときは利用をやめる
❗ 歌唱を伴う飲食店、公民館やコミュニティセンター等での地域の集まりなどは特に注意を！
- ▶ 職場での感染予防対策の徹底
換気の徹底、体調不良時に休暇を取得しやすい職場環境づくり
大声での会話は避ける、ソーシャルディスタンスの確保
- ▶ 飲食の場での感染予防の呼びかけ
感染拡大予防ガイドラインの実践状況を確認
対面や至近距離で座らない、
カラオケの際はマスク・フェイスシールドの着用、マイク消毒の徹底

若者の皆様へ

- ▶ 体調が悪いときは行動を控える
仕事、宴会、レジャー、帰省などの行動の延期や中止
- ▶ 飲食店等を利用する場合
感染拡大予防ガイドラインの実践状況を確認
対面や至近距離で座らない、大声での会話は避ける、
カラオケの際はマスク・フェイスシールドの着用、マイク消毒の徹底

医療従事者・介護従事者の皆様へ

- ▶ 感染リスクの高い場所に行かない

もう一度、気を引き締めて感染対策をお願いします

歌唱を伴う飲食店での 新型コロナウイルス感染症対策について

以下の取組が実践できているか、改めて確認をお願いします



1. 基本的感染予防の徹底

- ☐ 食事中以外はマスク又はフェイスシールドの着用をお願いする
- ☐ 来店時やトイレ使用後に手洗い手指消毒を行うよう注意喚起をする
- ☐ 人と人の間隔を空け、パーティション等で飛沫感染防止を行う
- ☐ 換気設備などによる、徹底した換気をする
- ☐ 「事業者版スマートライフ宣言」の掲示により、取組が見える化する



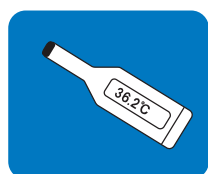
2. 食事提供時の注意

- ☐ お酌、グラスなどの回し飲みを避けるよう、注意喚起を行う
- ☐ 大皿料理を避け、料理は個別提供する



3. カラオケを行う場合

- ☐ カラオケマイクなどを使用のたびに消毒する
- ☐ 客席とステージの距離を確保する
- ☐ 歌唱に際しては、人と人の間隔を空け、マスク又はフェイスシールドの着用を行う



4. 従業員の体調管理について

- ☐ マスク又はフェイスシールドの着用を徹底する
- ☐ 検温や健康状態を確認し、有症者は自宅待機にする
- ☐ 体調が悪い場合に、休暇等がとりやすい職場環境を整える



5. 顧客情報の管理について

- ☐ 利用者の連絡先を把握するなど、顧客名簿を整備する
- ☐ 接触確認アプリ「COCOA」、「とくしまコロナお知らせシステム」などを活用し、患者発生時の追跡調査に協力できるようにする

感染拡大防止にご協力を！

とくしまコロナ お知らせシステム



徳島県



不特定多数の方が利用する施設やイベント等で、新型コロナウイルスの感染者が発生した場合に、感染者と同じ日に同じ施設等を利用した方に対し、県から注意喚起メールを送信します。

施設利用者・イベント参加者（一般の方）

メールアドレスを登録するだけ！
☑氏名・住所・電話番号・位置情報は一切取得しません
☑登録したメールアドレスは30日後に自動的に消去されます

STEP 1

施設や
イベント会場
に掲示された
QRコードを
スマホ等で
読み取る



STEP 2

登録画面から
自分の
メールアドレス
を送信



STEP 3

登録完了
メールが
返信されたら
OK



※「@mail.pref.tokushima.jp」からのメールを受信できる設定となっているか、ご確認ください

施設管理者・イベント主催者（事業者の方）

施設・イベント登録はこちらから →



STEP 1

施設名や
連絡先など
施設・イベント
情報を登録



STEP 2

登録した
メールアドレス
にQRコードが
届くので
ダウンロード



STEP 3

建物や
イベントの
入口等に
QRコードを
掲示



詳しくは

とくしまコロナお知らせシステム

検索



(メールの配信基準)

新型コロナウイルスの感染が確認され、保健所による積極的疫学調査の結果、公衆衛生上の観点から、広く注意喚起を行う必要がある場合、感染者と同じ日、同じ施設(イベント)を利用した方にお知らせします。

【配信内容イメージ】

徳島県内で新型コロナウイルスの感染者が確認されました。
行動歴を確認したところ、
あなたが○月○日に訪れていた施設を利用していたことが確認されました。

本システムでは、あなたが感染者の近くにいたか、また、どの程度接触があったかは分かりません。
まずは、体調管理にご注意いただき、検温の実施、マスク着用などをお願いします。

「新型コロナウイルス対策ポータルサイト」で最新の情報をご確認ください。

一般相談はこちら フリーダイヤル 0120-109-410

体調にご不安がある場合は、下記の帰国者・接触者相談センターまでご相談ください。

徳島保健所	088-602-8907	吉野川保健所	0883-36-9018
阿南保健所	0884-28-9874	美波保健所	0884-74-7373
美馬保健所	0883-52-1016	三好保健所	0883-72-1123

よくあるご質問 (一般の方)

QRコードを読み込むと、自分の個人情報や位置情報が徳島県に伝わるのですか？

徳島県が取得する情報はメールアドレスのみです。
利用者の氏名、住所、電話番号、GPSによる位置情報を取得することはありません。

専用のアプリのインストールは必要ですか？

専用のアプリのインストールは必要ありません(QRコードを読み込むためのアプリは必要となります)。

同じ施設であれば、QRコードは最初の1回だけ読み取ればいいですか？毎回利用する場合は、その都度読み取らないといけませんか？

読み込んだ日時を基準として該当者を検索し、メールをお送りしますので、同じ施設であっても、利用日ごとに読み取る必要があります。

よくあるご質問 (事業者の方)

県から注意喚起メールが配信される際には、当該施設(イベント主催者)にも通知されますか？

事前に当該施設(イベント主催者)にもお知らせします。

QRコードが記載された紙は、どこに掲示すればいいですか？

施設の入口や受付など、利用者に分かりやすい場所に掲示してください。

なお、施設(イベント)の規模に応じ、複数の場所に同じQRコードをコピーして掲示していただいても構いません。

イベントで複数の開催日がある場合、開催日ごとにQRコードの発行が必要ですか？

イベント主催者が変わらない場合、同じQRコードの掲示で構いません。参加者がQRコードを読み取った日付で、メールの通知対象を判断します。

国の新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCCA)と「とくしまコロナお知らせシステム」の違いは？

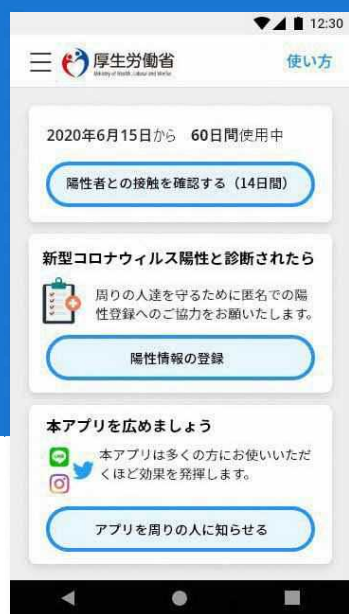
COCCAは、スマートフォンの近接通信機能(Bluetooth)を利用して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができる仕組みです。接触を検知する目安は、お互いのスマートフォン同士が、概ね1メートル以内の距離で15分以上の近接した状態にあった場合とされています。

一方、本システムは、利用した施設やイベントで、QRコードを読み取り、御自分のメールアドレスを登録することで、同じ日、同じ施設を利用した方の中から新型コロナウイルスの感染が確認された場合、徳島県からメールでお知らせするものです。また、スマートフォンだけでなく、カメラ機能があるガラケー(フィーチャーフォン)でも対応可能です。

それぞれのシステムを多くの方が利用することにより、新型コロナウイルス感染症の拡大防止につながることを期待されます。

※QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

自分をまもり、大切な人をまもり、
地域と社会をまもるために、
接触確認アプリをインストールしましょう。



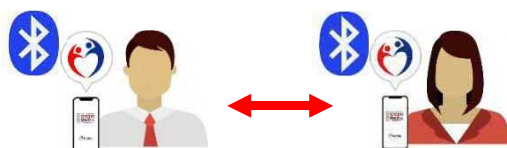
* 画面イメージ

厚生労働省 新型コロナウイルス 接触確認アプリ (略称：COCOA) COVID-19 Contact Confirming Application

接触確認アプリは、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができる、スマートフォンのアプリです

- 本アプリは、利用者ご本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能（Bluetooth）を利用して、お互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができるアプリです。
- 利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながることが期待されます。

1メートル以内、15分以上の接触した可能性



- ・ 接触に関する記録は、端末の中だけで管理し、外にはできません
- ・ どこで、いつ、誰と接触したのかは、互いにわかりません
- ※ 端末の中のみで接触の情報（ランダムな符号）を記録します
- ※ 記録は14日経過後に無効となります
- ※ 連絡先、位置情報など個人が特定される情報は記録しません
- ※ Bluetoothをオフにすると情報を記録しません

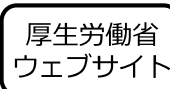
iPhoneの方はこちら



Androidの方はこちら



詳しくはこちら



新型コロナウイルス接触確認アプリ 利用者向けQ & A

問1 接触確認アプリとは、どのようなものですか。

利用者ご本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、お互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができます。なお、本アプリはApple社とGoogle社が提供しているアプリケーション・プログラミング・インターフェイス(API)を元に開発しています。

問2 アプリを利用することで、どのようなメリットがありますか。

利用者は、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながることが期待されます。

問3 他の利用者との接触をどのように記録するのですか。

スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、ほかのスマートフォンとの近接した状態（概ね1メートル以内で15分以上）を接触として検知します。近接した状態の情報は、ご本人のスマートフォンの中にのみ暗号化して記録され、14日が経過した後に自動的に無効になります。この記録は、端末から外部に出ることはなく、利用者はアプリを削除することで、いつでも任意に記録を削除できます。

問4 個人情報収集されることはありませんか。

氏名・電話番号・メールアドレスなどの個人の特定につながる情報を入力いただくことはありません。他のスマートフォンとの近接した状態の情報は、暗号化のうえ、ご本人のスマートフォンの中にのみ記録され、14日の経過した後に自動的に無効になります。行政機関や第三者が接触の記録や個人の情報を利用し、収集することはありません。

問5 位置情報を利用するのですか。

GPSなどの位置情報を利用することはない、記録することはありません。

問6 他の利用者との接触を検知する目安はありますか。

ご利用のスマートフォン同士が、概ね1メートル以内の距離で15分以上の近接した状態にあった場合、接触として検知される可能性が高くなります。機器の性能や周辺環境（ガラス窓や薄い障壁など）、端末を所持する方向などの条件や状態により、計測する距離や時間に差が生じますので、正確性を保証するものではありません。

問7 利用はいつでも中止できますか。

いつでも任意にアプリの利用を中止し、アプリを削除することで、すべての過去14日間分までの記録を削除できます。

問8 アプリでは、どのような通知がきますか。

新型コロナウイルス感染症の陽性者が、本人の同意のもと、陽性者であることを登録した場合に、その陽性者と過去14日間に、概ね1メートル以内で15分以上の近接した状態の可能性があった場合に通知されます。通知を受けた後は、ご自身の症状などを選択いただくと、帰国者・接触者外来等の連絡先が表示され、検査の受診などが案内されます。

問9 新型コロナウイルス感染症の陽性者がアプリで登録したら通知はすぐにきますか。

利用者への通知は、1日1回程度となっております。アプリへの登録のタイミングによっては、すぐに通知されない場合があります。なお、アプリの設定で「通知をON」にいただくと、通知があった場合に画面上に通知メッセージが表示されます。

問10 新型コロナウイルス感染症の陽性者と診断されましたが、アプリで登録しなかったらどうなりますか。

陽性者と診断された場合に、アプリへの登録は、利用者の同意が前提であり、任意です。登録いただくことで、あなたと接触した可能性がある方が、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。

問11 陽性者との接触の可能性が確認されたとの通知を受けたら、何をすればいいですか。

アプリの画面に表示される手順に沿って、ご自身の症状などを選択いただくと、帰国者・接触者外来などの連絡先が表示され、検査の受診などをご案内します。

問12 厚生労働省ではアプリで得た情報を何に利用するのですか。

厚生労働省では、アプリにより、利用者のデータを利用し、収集することはありません。利用者には氏名・電話番号などの個人情報を入力いただくこともありません。